

(4) 黒松内支署所管

2 8 消防署支署庁舎「黒松内支署庁舎」

現在位置：黒松内町字黒松内427番地1

建築年：昭和56年

延床面積：553.50㎡

構造：鉄筋コンクリート造

整備指針：改修を重ね長寿命化を図りながら令和23年建替えを検討

目標時期：令和23年 建替え



黒松内支署庁舎は、昭和56年に建築し、現在まで41年が経過しています。

平成9年には職員増に伴う事務所内部の改修工事、平成20年は職員用仮眠スペースや洗面所の整備など設備面の充実を図りました。

また、雨水の浸透や塗装の剥離のため、平成23年7月庁舎北側の屋上防水改修工事を実施し、令和3年7月には南側の屋上も防水改修工事を実施し、長寿命化を進めています。平成29年には大規模な外壁塗装の修繕工事、更に平成30年には新大型水槽車更新に伴う車庫内の改修工事を実施しています。なお、平成25年1月庁舎の耐震診断結果、耐震安全性の判定として「想定する地震動に対して所要の耐震性を確保している」との判定が出されています。

今後も消防・救急需要の高まりに対し迅速に応じるため、引き続き適切な維持管理を行いながら、消防・救急体制の充実を図ることとし、令和23年には建替えを検討しています。

29 消防署支署庁舎「黒松内支署庁舎車庫（増築）」

当該車庫（増築）については、誤記載であったことから、管理計画から今後削除する予定です。

30 庁舎附属施設「黒松内基地局」

現在位置：黒松内町字婆沢45番地7

建築年：平成27年

延床面積：13.80㎡

構造：軽量鉄骨造

整備指針：適切な維持管理により機能保全を図りながら、令和26年大規模改修を検討

目標時期：令和26年 大規模改修



黒松内基地局（デジタル局舎）は平成27年に建築し、消防救急デジタル無線設備を収納しており、現在まで7年が経過しています。

大規模災害等に備え山間地の不感地帯を解消するため、庁舎裏の山頂に基地局を設置するとともに、運用開始に当たり庁舎統制局間と中継アプローチ回線で接続することで行政区域の大半をカバーしています。

局舎内は空調管理されていますが、定期的目視点検等を実施するとともに、令和26年には大規模改修を予定しています。

3 1 消防団施設「作開分団車庫」（黒松内消防団）

現在位置：黒松内町字北作開61番地
建築年：平成2年
延床面積：72.00㎡
構造：セラミックブロック造
整備指針：適切な維持管理により機能保全を図りながら、令和32年建替えを検討
目標時期：令和32年 建替え



作開分団車庫は、平成2年に建築し、現在まで32年が経過しています。

本施設は、消防団作開分団の詰所としても使用しており、小型動力ポンプ付積載車1台を配備しています。

管轄区域の中心部に配置していることから、出動や団員参集に際して良好な立地状況となっていることに加えて、敷地内での訓練が可能で運用面等の大きな課題はありません。平成3年には周囲舗装工事を、平成26年には側溝舗装補修工事を実施し雨水等の排水を改善、また平成30年には屋根塗装修繕を実施しています。

今後も財政状況を踏まえ、適切な維持管理に努め、築60年が経過する令和32年に建替えを検討しています。

3 2 消防団施設「中ノ川分団車庫」(黒松内消防団)

現在位置 : 黒松内町字中ノ川62番地35
建築年 : 昭和50年
延床面積 : 70.34㎡
構造 : セラミックブロック造
整備指針 : 適切な維持管理により機能保全を図りながら、令和17年建替
えを検討
目標時期 : 令和17年 建替え



中ノ川分団車庫は、昭和50年に建築し、現在まで47年が経過しています。本施設は、消防団中ノ川分団の詰所としても使用しており、小型動力ポンプ付積載車1台を配備しています。

管轄区域の中心に位置し、また敷地内には防火水槽を設置し、有事対応や放水訓練が可能であり運用面においても大きな課題はありません。昭和62年と平成5年には団員増及び車両更新に伴う増改築工事を、平成9年にはトイレの換気設備工事を実施。平成13年には内装修繕(クロスリフォーム)を、また平成25年及び平成26年には防寒対策として窓枠修繕を実施し、また、令和17年には建替えを予定しています。